

# ケーラー・アインシュタイン計量とファノ多様体

G. Tian

## Abstract

この論文は、正曲率を持つケーラー計量に関する概説です。2013年に京都大学数理解析研究所において開催された高木レクチャーのためのものです。まず二木不変量、K-安定性とそのK-エネルギーとの関連について議論します。次に、K-安定なファノ多様体上のケーラー・アインシュタイン計量の存在に関する、2012年の私の仕事の概略を説明します。最後に、ポールによる、ペアの安定性に関する研究と、その私による変更を説明します。